

盛大に開催

岩田一郎氏叙勲祝賀会

秋の叙勲で旭日中緩章を受章された岩田一郎前町長の叙勲祝賀会が十一月二十八日、町民体育館で盛大に開催されました。



謝辞を述べる岩田一郎氏

百人が集まり、仁多乃炎太鼓の演奏、功績披露や祝電披露、多くの来賓を代表して、松尾秀孝島根県副知事、斉藤鉄夫衆議院議員から祝辞がありました。

岩田氏から「ひたすらに町政に取り組んできた。一つひとつの事柄が脳裏によみがえってくる。国や県、町民の皆様へ感謝申し上げます」と謝辞が述べられました。



祝賀会には、町内外から多くの方が出席

議員や青木幹雄参議院議員らが駆けつけられ、祝福の言葉が贈られました。同氏と富士子夫人の席には祝福の列が連なり、いつまでも感謝とねぎらいの挨拶が続き、出席者にとって記念すべき一日となりました。

続いて祝賀会では、奥出雲神代神楽社中の神楽が宴に彩を添えるなか、国会議員の細田博之、竹下巨両衆議院

玉峰山荘「トロッコプラン」 年間利用者が二千人到達

平成十年にスタートしたトロッコ列車。

亀嵩温泉「玉峰山荘」では、四年前からJRとタイアップして、このトロッコ列車「奥出雲おろち号」の利用者を対象に、三井野原駅などに送迎バスを運行し、宿泊や日帰りの独自のプランを設定しています。

十一月十日には、トロッコ列車年間利用者約二万人の割にあたる二千人に達成し、玉峰山荘で記念イベントが行われました。

この日は、井上町長やJR木次鉄道部の新原隆司部長が駆けつけ、二千人目となった出雲市の神西自治協会など二団体全員に、仁多米一升がプ



2千人達成を祝い、井上町長らが仁多米をプレゼント

レゼントされました。

日本防火協会から 和太鼓が寄贈

防火意識の向上を図る



寄贈された和太鼓で演奏する園児たち

十一月二十七日、阿井幼稚園幼年消防クラブに、(財)日本防火協会の宝くじ事業の助成による和太鼓十張が贈られました。

同クラブは、十三年前に結成され、消防庁舎見学や放水体験、避難訓練や起震車体験などを通じた、防火・防災への知識を深めています。

贈呈式では、雲南消防本部 秦大行予防課長から園児代表の小池一也さんに目録が手渡されました。吉野一郎園長は「和太鼓を通して、地域やふるさとの良さを感じ、今後一層の防火意識の向上に活用したい」とお礼がありました。早速、四・五歳児八人が防火法被をまとい、真新しい和太鼓で「阿井幼稚園のうた」を元気いっぱい演奏しました。

幼児教育の充実について

教育委員会からの報告

奥出雲町教育委員会では、今年一月に「奥出雲町学校再編基本計画検討委員会」から答申のあった「幼児教育の充実」について、様々な観点から審議が行なわれ、十一月二十五日、町長に対し次の報告書が提出されました。

「奥出雲町学校再編基本計画検討委員会」からあった答

申内容を尊重し、望ましい教育環境を担保するために、幼保一体的な機能を持つ施設を設置を進め、幼児教育の充実を図る必要がある。

なお、望ましい教育を保障するために相談窓口の一本化、幼児教育の方針・具体的な園の運営等について審議・検討・評価を行なう仮称「奥出雲町幼児教育推進協議会」を設置することが必要である。

晩秋の奥出雲路で健脚競走 第59回 仁多郡駅伝競走大会



一斉にスタート(横田庁舎)

伝統の仁多郡駅伝競走大会が十一月二十二日、役場横田庁舎前を発着点に三十二・八キロで行われました。

この大会には、一部(支部対抗)に九チーム、二部(クラブ対抗)に七チームが参加し、健脚を競い合いました。選手たちは、アップダウンのあるコースを懸命に走り、寒さを吹き飛ばす熱いレースを展開しました。

特に阿井支部は、大学生チームを上回る圧倒的な走りです。総合優勝に輝きました。

- 【一部】 優勝 阿井支部
一時間四十六分十二秒
準優勝 三成支部
一時間五十分四秒
- 三位 布勢支部
一時間五十四分五十八秒
- 【二部】 優勝 島根大学 Y
- 【区間賞】
一区 朝倉 祐樹(鳥上)
二区 若槻 陽(横田)
三区 朝倉 貴志(三成)
四区 藤原 誠(阿井)
五区 高橋 安典(阿井)
六区 和久利英之(阿井)
七区 安部 直人(阿井)
- 【大会最優秀選手】 藤原 誠(阿井支部)

第十四回 中四国中学生選抜剣道大会

第十四回中四国中学生選抜剣道大会が十二月六日、町民体育館を会場に開催されました。大会には、中四国各県からの選抜校に加え、剣道の盛んな九州からは大分県の緑ヶ丘中学を招待し、男女合わせて四十六チームが日頃の鍛錬の成果を競い合いました。各県を代表する強豪校が対戦する本大会は、年々レベルが向上しており、今年も熱戦が繰り広げられました。

また、大会前日には、同じ剣の道を歩む中学生同士での錬成会も行なわれ、地元中学生も多数参加し、技術の向上はもとより、友情の輪も広がりました。思い出に残る大会となりました。



大会の様子

人権意識高めて 擁護委員が街頭啓発

「みんなで築こう人権の世紀」をテーマにした、第六十一年人権週間が、十二月四日から始まり、町内各所で様々な啓発活動が行われました。初日には、横田庁舎で一日人権擁護委員の任命式があり、町連合婦人会の浅野澄子会長に松江地方法務局雲南支局の山本支局長から委嘱状が手渡されました。

早速、人権擁護委員らと共に、横田庁舎や町内事業所、商業施設などで啓発活動を行い、標語入りのポケットティッシュ、チラシ等のセットを配布し人権意識の高揚を訴えました。



街頭啓発の様子